

議員・職員のための

「政策議会」をめざして

一般質問、広報を理論と実践と事例で考える

8月3日(水)

in 京都



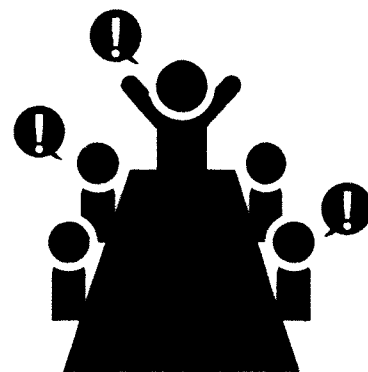
講師：土山 希美枝【法政大学法学部大学教授】

北海道生まれ。2000年法政大学大学院社会科学研究所政治学専攻博士課程修了。政治学博士。龍谷大学政策学部教授を経て2021年4月より法政大学法学部教授。著書に「市民と自治体の協働研修ハンドブック」(公人の友社)、「地域公共政策をになう人材育成」(日本評論社)、「対話と議論で〈つなぎ・ひきだす〉ファシリテート能力ハンドブック」(公人の友社)等多数。

◇ 10:00～13:00

政策議会の一般質問 機能と手法を考える

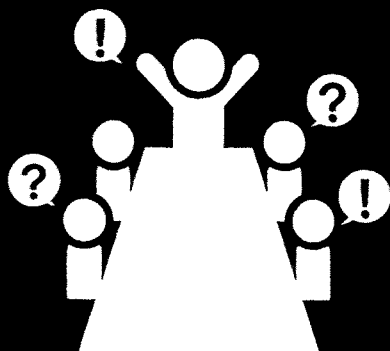
1. 自治体と議会の機能を確認する
2. 一般質問の機能と課題
3. 一般質問はなぜ機能していないか
4. 機能する一般質問のために
5. 政策議会の「資源」としての一般質問



◇ 14:00～17:00

議会と議員と市民をつなぐ 対話と広報を考える

1. 議会が必要とされているか
2. 議員像と議会像を考える
3. 広報を考える
：なにを、どうやって、共有するか
4. 対話を考える
：議会を市民と議員のヒロバとする
5. 市民との関係を再構築する



(株)地方議会総合研究所

【調査事項】

「米原市のデマンド交通（まいちゃん号、まいちゃんバス）について」

（1）事業の概要について

- ① 概要及び導入に至った経緯について
- ② エリア特性に応じたデマンド方式導入の考え方について

（2）事業の運営方法について

- ① 運営体制について
- ② 財源について
- ③ 運賃の設定方法、考え方について
- ④ 予約方法について
- ⑤ 利用状況について
- ⑥ 導入後の効果について

（3）今後の展開、課題について

○地方議員研究会による研修会

日 時：令和4年8月3日（水）

場 所：京都市：京都経済センター

講演者：法政大学 教授 土山希美枝

9：00～13：00 「政策議会の一般質問 機能と手法を考える」

自治体と議会の在り方（機能）について

・議会が「信頼を得る」ことの必要性。

1. 一般質問の機能と課題について

・一般質問は、議会と議員にとってどんな機能をもつのか。

・議員による「わがまちの政策課題」についての争点提起の場である。

・市政の争点を提起し、監査機能・政策提案機能を果たす。

2. 一般質問は機能しているか。

3. 機能する一般質問のポイント。

・一般質問は、「事実」「分析」「主張」で構成。など

14：00～17：00 「議会と議員と市民をつなぐ 対話と広報を考える」

1. 議会は必要とされているか。

・市民と議会のあいだに横たわるもの。（アンケートより）

2. 議会像と議員像を考える。

- ・議会が信頼を得ること。(負託に応える)
- ・市民から評価を得る。(成果、実績)

3. 市民と議員の対話を考えることの必要性。

(まとめ)

講義を受け、一般質問は、議員にとって議会は市民を代表し、監査機能・政策提案機能を果たすべく場であり、そのためにも、市民の問題点をしっかりと受け止めることの必要性とその問題点を如何に表現し構成していく力を身につけなければならぬかだと思いました。

○視察報告書

日 時：令和4年8月4日（木）

場 所：米原市

対応者：議会事務局：局長 阿原麻木子

市民部自治環境課：課長補佐 磯部 修、主事 塚口凌平

（調査事項）

「米原市のデマンド交通について」

（1）事業概要について

- ① 概要及び導入に至った経緯について
- ② エリア特性に応じたデマンド方式導入の考え方について

（2）事業運営について

- ① 運営体制、②財源、③運賃設定の考え方、④予約方法、
- ⑤利用状況、⑥導入後の効果

（3）今後の課題

（調査概要）

米原市のデマンド交通は、市全域で運用されており、予約制乗合タクシー「まいちゃん号」と乗合タクシー「まいちゃんバス」があります。

米原市は、平成 17 年に 4 町が合併して米原市となり、引き続きその 4 町でそれぞれが違ったデマンド交通を実施されていましたが、合併後の平成 27 年に採算が合わないことや利便性の問題で見直され、現在の運行となりました。

運行概要ですが、「まいちゃん号」は小型タクシー（乗客：4 人乗り）、年中無休、1 区間大人 800 円子ども 400 円で運行時間帯は 6 時台～19 時台と 30 分間隔で運行です。驚いたことにバス停（停車位置）は基本 200 m 間隔に設定され、約 500 か所あるようです。山間部は民家も点々と少なく坂道となっているようですが、不便さをなくすために 150 m 間隔でバス停があるようです。

運賃ですが、1 地区内 1 区間 800 円の設定は高いように思われますが、米原市街から遠い場所に普通にタクシーを利用すれば一万円以上かかるとのことでした。しかし、ここでも工夫されていて、あとから説明する「まいちゃんバス」は、市外からこられても 1 回 800 円で利用することができるため、地元市民と差別をつけるための割引パスポートを発行されており、これを使うと 1 回 500 円です。

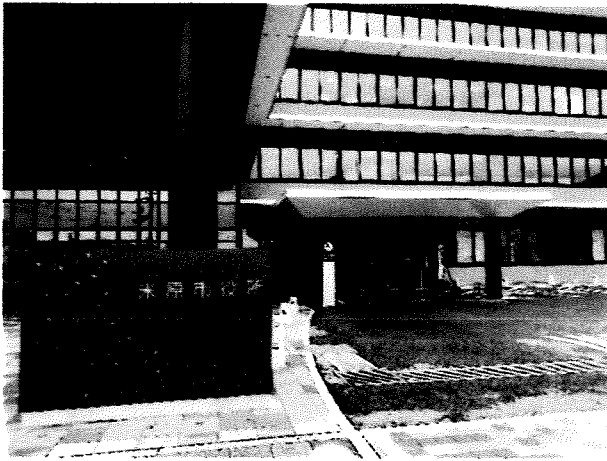
「まいちゃんバス」は、路線バスの廃止に伴い、乗合タクシーとして運行が令和 2 年 10 月から運行され、予約不要とのことでした。

その概要は、10 人乗りワゴン車（乗客：9 人）、料金は「まいちゃん号」と共通料金、運行は平日のみ、停留場は各集落毎にひとつずつ設置。

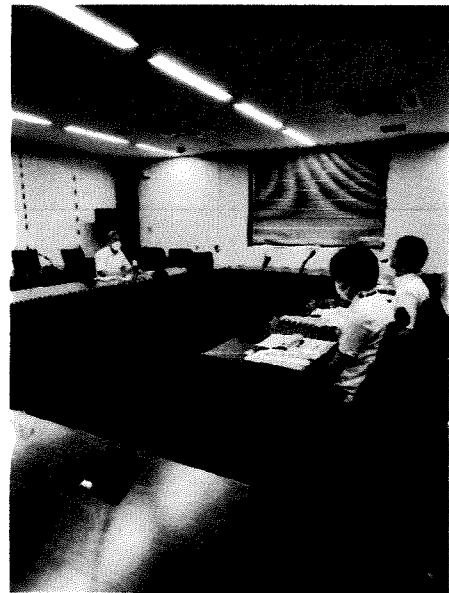
いずれも、タクシー会社が委託運営しており、予約センターを通して予約配車システムにより、効率よく運営されています。

運営費ですが、「まいちゃん号」として運行された際のタクシーメーター料金から、利用者負担分を除いた運行欠損額を補助金で補填するとのことでした。

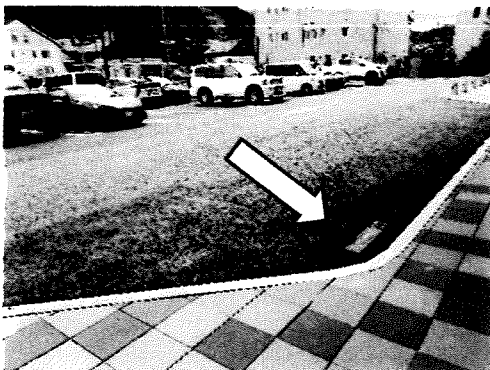
いずれにしても、これまでの他市のデマンド方式導入とは、規模など多くの点で違っており、これからの本市でのデマンド方式を考える点では、随分と参考となりました。



米原市庁舎



質疑応答



バス停表示 (ナンバーにより位置表示)

